

令和3年度 第1回学校運営協議会議議事概要

- 1 日時 令和3年7月2日(金)
開会 10時00分 閉会 11時35分
- 2 場所 岡山県立玉野高等学校会議室
- 3 出席者
- | | | | |
|----|---------|----|---------|
| 委員 | 五老海 正 登 | 委員 | 藤 原 直 之 |
| 委員 | 稲 田 秀 知 | 委員 | 前 野 慶 次 |
| 委員 | 恵 谷 栄 一 | 委員 | 山 崎 裕 正 |
| 委員 | 大 川 佳 郎 | 委員 | 山 根 一 人 |
| 委員 | 豊 田 啓 介 | 委員 | 山 本 育 子 |
| 委員 | 東 り え | 委員 | 多 田 一 也 |
| 委員 | 福 本 泰 久 | | |
- 事務局 教 頭 橋 本 文 彦
主幹教諭 守 屋 泰 志
指導教諭 竜 門 巧 、 岡 本 崇 志
事務長 立 野 弥 生

4 議事の概要

開会

(1) 会長及び副会長の選出

豊田啓介委員を会長、山根一人委員を副会長とすることに決まった。

(2) 説明

校長が令和3年度の学校経営計画について説明した。

事務局担当者から、学校経営計画及び目標達成に向けた具体的方策について、教育課程の編成について、組織編成について、予算執行について、ICT機器を活用した授業、生徒募集についてそれぞれ説明した。

(3) 意見交換

校長及び事務局からの説明を受けて、各委員で意見交換を行った。概ね次の4点に集約された。

○ 学校の現状及び広報について

- ・ 時代のニーズ、教育界のニーズをきちんと把握された学校経営計画書になっている。
- ・ キャリア教育の全体計画も、夢について各学年ごとに考える取組をしており、非常に良い。
- ・ 少子化に関わらず、行きたい、行かせたい学校として広く認められるために、玉野高校の優位な点をアピールする、発信力を高めていく必要を感じる。

○ 求められる力

- ・ プレゼンテーション力、色々な世代・立場の人と意見を交わしながら意思決定をしていく経験、「正しい考え方」、将来に向けた競い合い、文字として発信する力、ディベート力

○ 地域との連携

- ・ 市内高校生の7割は「玉野市に住み続けたくない」と答えているが、高校3年生は、若干「住み続けても良い」が増える。それは、「地域活動への関心度が増えた」にリンクしている。

○ ICTの活用等

- ・ 税の計算はAIでもできるが、税の法律を読むことはAIではできない。顧客に一番有利な法律を選択するのは人間の知恵である。これが人間の強みであり、機械にはできないところを育てる必要がある。
- ・ 道具としてのChromebook等のICT機器をうまく組み合わせて授業づくりをされている視点が良い。

(4) 協議

協議の結果、出席委員全員の賛同をもって、今年度玉野高校の、①学校経営について、②教育課程及び組織編成について、③予算執行について、いずれも承認された。

閉会